

## さざなみ No.49 (2015.10)

著者	滋賀医科大学附属図書館
発行年	2015-10-30
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10422/10951">http://hdl.handle.net/10422/10951</a>

## 【「大人のビブリオバトル」を開催しました！】

台風による休講に伴う休館のため開催が延期となっていた「大人のビブリオバトル」が、10月1日(木)、附属図書館2階のアクティブラーニング室にて無事開催されました。



司会の図書課長から挨拶とビブリオバトルの説明。少し緊張・・・？

発表者を教職員に限定した「大人のビブリオバトル」。当日は5名の発表者(バトル)を含め、参加者は全部で29名でした。持ち時間は5分。本のテーマは決めず、自由にご自身の好きな本を紹介していただきました。



→  
チャンプ本を紹介  
してくださった  
中谷仁さん。



←バトルさんの熱気に観覧のみなさんもうきこまれている様子。質疑応答も活発におこなわれました。  
塩田学長も観覧者として参加され、学長ブログで報告もしてくださいました。



スペシャルゲストの堀池副学長より金メダルが授与されました！

クリッカーを使った参加者全員による投票の結果、中谷 仁さんが紹介された『英語語源辞典』が見事チャンプ本(一番読みたくなった本)に決定しました。  
素晴らしい発表をしてくださった5名のバトルの方々をはじめ、参加してくださったみなさま、どうもありがとうございました！

今回紹介された本とバトルは以下の通りです。(発表順)

- 『私の嫌いな10の言葉』(中島義道著)  
田村峻一さん(図書課)
- 『英語語源辞典』(寺澤芳雄編集主幹)  
中谷仁さん(分子神経科学研究センターMR医学研究分野)
- 『2001年宇宙の旅』(アーサー・C. クラーク著)  
小山由紀子さん(実験実習センター)
- 『デザイン、現場の作法。』(伊達千代著)  
小島秀人さん(生化学・分子生物学講座(再生・修復医学))
- 『国民のコトバ』(高橋源一郎著)  
助川晃自さん(国際交流支援室/文学・フランス語)

全て図書館に入りましたので、ぜひ読んでみてくださいね！



バトルのみなさんと堀池副学長

ビブリオバトル、またやります！  
ぜひ参加ください^^

## 【図書展示「若鮎祭講演会企画」実施中】

若鮎祭でご講演いただいた夏川草介氏、江部康二氏、東小雪氏の著書を 図書館1Fエレベータ横に展示しています。どうぞご利用ください！

### □ 夏川 草介 氏

- ・神様のカルテ 0～3巻
- ・神様のカルテ(コミック版;石川サブロー著)1～2巻

### □ 江部 康二 氏

- ・主食をやめると健康になる：糖質制限食で体質が変わる!

### □ 東 小雪 氏

- ・なかったことにしたくない：実父から性虐待を受けた私の告白
- ・ふたりのママから、きみたちへ
- ・レズビアン的結婚生活(※女性教育会館借受図書)



## 【電子リソーストライアル 実施中】

次の電子リソースのフリートライアルをおこなっています。

<http://www.shiga-med.ac.jp/library/guest/trial>

- ・ McGraw-Hill's AccessMedicine …11/5 まで  
内容：「ハリソン内科学」、「ウィリアムズ血液学」等の電子ブックや、医療動画・講義ビデオ等
- ・ Visible Body …11/6 まで  
内容：3D人体解剖教育モジュール
- ・ Acland Anatomy …11/6 まで  
内容：ヒト全身の3次元肉眼解剖学ビデオ集
- ・ 南江堂オンラインJournal …12/25 まで  
内容：「内科」「外科」等、南江堂が発行する雑誌6誌



ご意見・ご感想は、附属図書館・情報サービス係(hqjouser@)までお寄せください。

## 【男女共同参画推進(第8回)展示・貸出】

国立女性教育会館 女性教育情報センターから借り受けた図書100冊の展示・貸出、第8回のテーマは「家族」「人間関係」「国際協力」「医療・看護」「セクシュアリティ」「ワークライフバランス」です。ぜひご利用ください！

展示・貸出期間：2015年10月5日(月)～12月11日(金)

※12月5日以降の貸出は12月11日が返却期限です。ご注意ください。

展示場所：附属図書館1階エレベーター横

## 【図書館バイトのおすすめ本 Vol.6】

「図書館バイトのおすすめ本」も6回目となりました。今回は、5年生のUさんが面白くてためになる本を紹介してくれましたよ。  
これから学ぶ後輩のみなさん、ぜひ読んでみてくださいね！



### 「好きになる免疫学：「私」が「私」であるしくみ」 萩原清文 著 多田富雄 監修 / 講談社

免疫学、あなたは得意なほうですか？ それとも、苦手なほうですか？  
液性免疫、自然免疫、細胞性免疫、Th1細胞、Th2細胞、B細胞——などなど、免疫に関する単語そのものは知っている人は多いかと思いますが、しかし、それがどんな働きをしているか、自信を持って述べられる人は少ないのではないのでしょうか。

おそらく滋賀医大では、3年生になってから免疫学を学ぶでしょう。しかし、大学の授業は非常に専門的であるので、基礎から学べる機会は正直ほとんどありません。自分で勉強しようと参考書に手を出しても、結局難しいことばかり書いてあってよく分からない……免疫あるある、だと思います。かくいう当時3年生だった私も、そのひとりでした。

そんなとき、同級生に紹介してもらったのが、この本です。薄いうえにわかりやすい文章なので、1時間ほどですると読めてしまいます。おまけに、かわいらしいイラスト付き。それなのに、内容は的確にポイントを押さえつつ、意外と深く詳しいところまで踏み込んであります。今まで断片的だった知識がひとつに整理されていく感覚がはつきりと感じ取れ、毎ページごとに「そういうことだったのか！」と大きな驚きを感じながら読み進めました。私はもっぱら教科書を辞書的に使用するスタイルで勉強しており、通読にはあまり効果を感じることはなかったのですが、この本は初めて「読んでみて良かった！」と思える参考書でした。

本書が発刊されたのは2001年ですが、まったく古さは感じさせません。免疫が苦手な人だけでなく、免疫を学び始めたすべての学生さんに読んでいただきたい本だと思っています。

## 【若鮎祭でブックバザールを開催しました】



10月24・25日に開催された若鮎祭にて、図書館で不要になった図書等を無償でお譲りする Library Book Bazaar をおこないました。

2日ともお天気に恵まれ、用意した図書のほぼ3分の1をお持ち帰りいただきました。また、「わかあゆ夢基金」にもたくさんのご支援を頂戴しました。  
ご来店いただいたみなさま、どうもありがとうございました！

# Library Book Bazaar! 2015